

参考様式第1及び参考様式第4の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 1	細要素事業名	田子西隣接地区雨水排水施設整備事業
工事概要 ゲートポンプ設置（新設） 1.5m ³ /sec×4基 うち復興交付金対象となる排水量 1.5m ³ /sec		総事業費 920,000千円(230,000千円) 設計費 30,000千円(7,500千円) (今回申請) 工事費 890,000千円(222,500千円) (H25年度事業) ※()内は交付対象事業費 (事業費に対して、排水量によるアロケ率25%)	
<div style="text-align: center;"> <h3>ゲートポンプ設置位置図</h3> </div>			
※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。 ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。			

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 2	細要素事業名	東部地域移転跡地土地利用等検討業務(その1)
------	----------------	--------	------------------------

概要： 東部地域全体の復興関連事業完了時の状況を示す鳥瞰図5枚の作成（全体1枚・部分4枚）
目的： 仙台市東部地域では、様々な主体による数多くの復旧・復興関連事業がそれぞれのタイミングで行われることから、東部地域全体の将来像が分かりにくくなっている。そのため、津波防御・防災施設やインフラ整備、土地利用に関し、被災者が再建等に関する判断を下すのに十分な情報を得ているとは言い難い状況である。

本事業により東部地域の全体計画を分かりやすく示すことを通じて、①被災者の移転・再建に関する判断を後押しすると共に、②現在行われている移転先毎のまちづくりの検討を促進する。また、③移転跡地買取に関する判断の一助とするとともに、④六次産業やエネルギー関連産業の誘致などの移転跡地の有効活用に関する検討に資するものである。

本事業は、市街地整備事業(防災集団移転促進事業)の効率的促進のうち、以下の2事業に該当する。

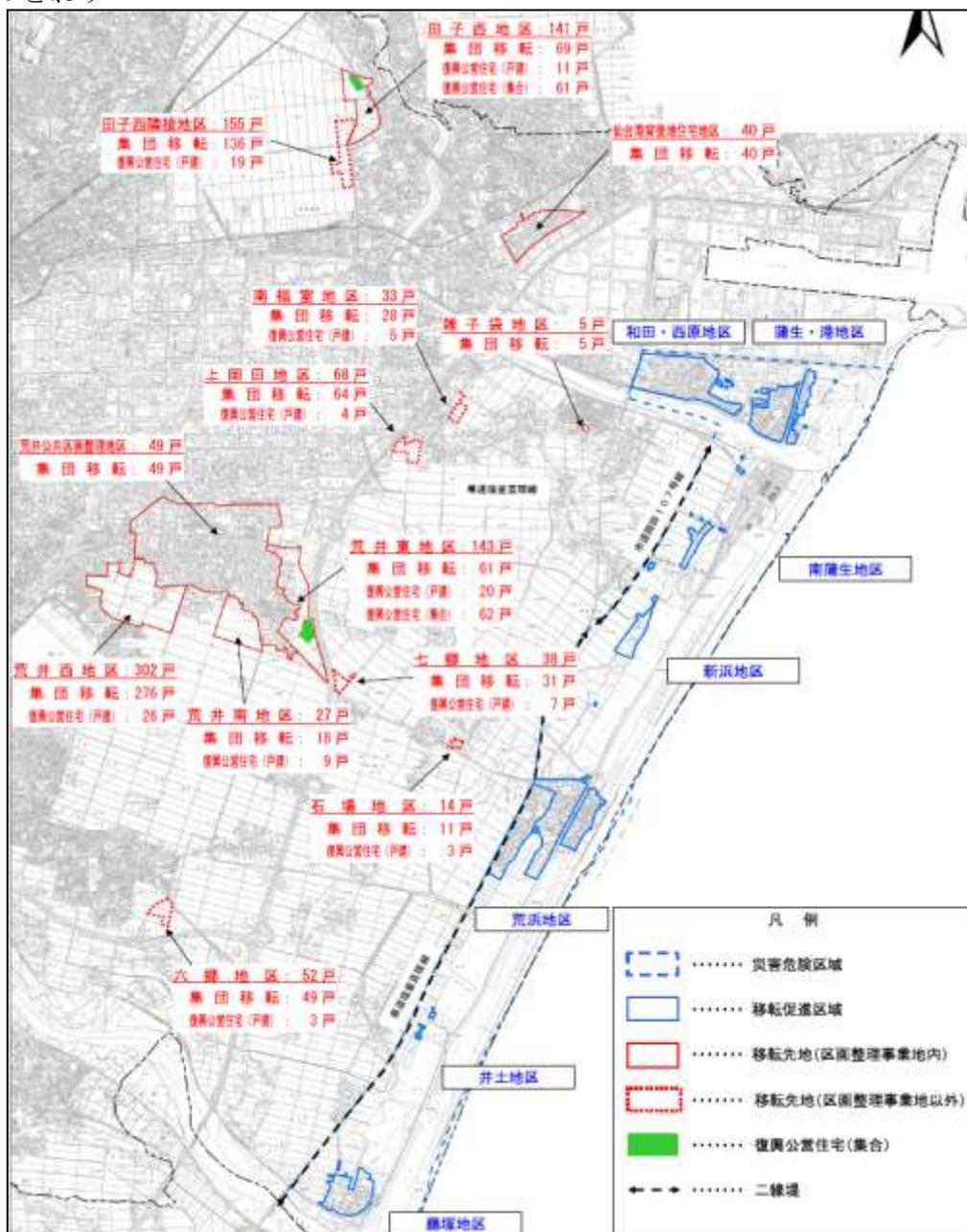
- ・被災地復興のための土地利用計画策定促進事業(調査費):上記①, ②の目的のために実施
- ・移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業(調査費):上記③, ④の目的のために実施

事業費： 調査費 4,500千円（交付対象事業費 4,500千円）（見積による）

事業期間： H24.12～H25.3

基幹事業（防災集団移転促進事業）との関連性： 再建意向未確定世帯の決定を促すことにより、移転の促進に寄与する。移転先のまちづくりの検討や移転跡地の有効活用検討の促進に寄与する。

対象範囲： 下図のとおり



参考様式第1及び参考様式第4の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 3	細要素事業名	6次産業化支援推進調査事業				
<p>(事業の概要)</p> <p>これまで本市の都市型農業確立の拠点施設としての役割を果たしてきた農業園芸センターについて、津波により甚大な被害を受けた東部地域の農業を、収益性の高い農業として再生に資する復興拠点支援施設として再整備を行うために必要な整備手法等の調査・検討を行う。</p> <p>本事業は、防災集団移転事業地周辺の中核的な産業である農業を再生することで、地域の振興を図るものである。</p> <p>(検討項目)</p> <p>(1) 実現可能性の調査 民間事業者のニーズ等の詳細をヒアリングし、実現可能性を調査する。</p> <p>(2) 整備手法の検討 整備手法の費用・工程の検討</p> <p>(3) 上記にかかる付随業務</p> <table border="1" data-bbox="746 936 1398 1025"><tr><td>総事業費</td><td>10,500千円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>10,500千円（見積りによる）</td></tr></table> <p>上記検討・調査にあたり、法律や財務等、専門的な知見から支援を行う。</p> 				総事業費	10,500千円	委託料	10,500千円（見積りによる）
総事業費	10,500千円						
委託料	10,500千円（見積りによる）						

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。